

情報処理安全確保支援士

頻出テーマポイント講義用 まとめノート



資格の大原 情報処理講座



ポイント講義 第1回

講義内容

1

□ 午前試験知識の確認

午前Ⅱ問題を、午後試験の穴抜け問題にアレンジしたものを使用して、知識の定着を確認します。

□ 午後試験重要テーマの確認

午後試験で重要なテーマについて解説を行い、理解を深めます。

Memo 

午前試験 知識の確認

午前試験知識の確認

問1 デジタル証明書の状態は、大きく分けて二つあり、□ア□は使用できる状態を表し、□イ□は使用ができない状態を表す。なお、□イ□はさらに三つの状態に分かれており、□ウ□、□エ□、□オ□となる。なお、□カ□とは「有効期限を迎えていないにもかかわらず無効となった証明書のリスト」である。

2

Check!

デジタル証明書で証明できるものは、認証局に対して依頼をしてきた企業が確かに登記上の住所に存在していることであり、経済状況などは確認できません。

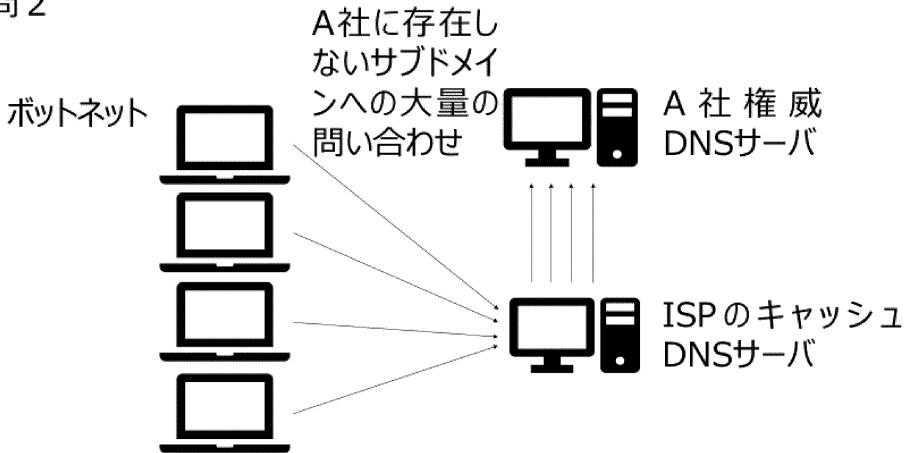
つまり、デジタル証明書を取得しているからといって、良い企業であるとは限らないということに注意が必要です。

問1 解答

- ア 有効 イ 無効 ウ 有効期限切れ エ 失効状態 オ 一時失効状態
カ CRL（又は、失効リスト） (ウ、エ、オは順不同)

午前試験知識の確認

問 2



午前試験知識の確認

問 2 前述の図では、ボットネットからISPのキャッシュDNSサーバへ、A社のドメインに対する、存在しないランダムな名称のサブドメインに対するDNS問い合わせを大量に送信する。ISPのキャッシュサーバは本来WAN側からの問い合わせに返答する必要はないが、それに応答してしまう脆弱性である [ア] が存在する場合、A社の権威DNSサーバに対して大量の問い合わせを送信してしまう。これにより、A社権威サーバがダウンしてしまうことがある。この攻撃をDNS [イ] 攻撃と呼ぶ。

Check!

オープントリゾルバへの対策としては DNS サーバの設定を見直しオープントリゾルバにならないようにすることや、ネットワーク機器において不要な返答をしないようにフィルタリングを行うなどがあります。

問 2 解答

ア オープントリゾルバ イ 水責め